

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第16回研修を開催しました！」

第16回の研修は、令和6年9月27日（金）、28日（土）に雫石町南畑のコテージむらで開催しました。

今回の研修は、株式会社みちのくクボタサービス推進部、越康貴氏を外部講師にお迎えして、農作業安全②（トラクタ及び小型管理機の安全操作）についての講義とトラクタの操作実習を指導していただきました。

講義では、農作業事故における死亡者数の推移や発生状況、事故が発生したことによる心身への影響について説明していただきました。併せて、トラクタ及び小型管理機の事故発生原因について動画を視聴し、安全に農作業するためのポイントについて解説いただきました。

休憩のあと実習に入り、越氏からトラクタの運行前点検について、トラクタを取り扱いながら御説明いただきました。

次に、2班に分かれて、トラクタと小型管理機の操作実習を行いました。

越氏と研修指導員のもとで、出席した受講生全員が、トラクタ及び小型管理機における、直進、旋回、耕うんなど、実際の農作業における一連の操作に取り組みました。

初めて操作する受講生もいましたが、全員が安全に実習することができました。

実習の最後に、だいこん、キャベツなどを収穫しました。今年度は、だいこんとキャベツの病害虫対策を徹底した結果、ともに虫害が少ない状態で収穫することが出来ました。

次回の研修は、10月11日（金）、12日（土）、雫石町南畑のコテージむらにおいて、たい肥作りと作付計画についての講義と、さつまいも、さといもなどの収穫を行う予定です。



講義「農作業安全②（トラクタ及び小型管理機の安全操作）について」の様子



外部講師（株式会社みちのくクボタサービス推進部 越康貴氏（右））からトラクタの操作指導を受ける受講生



小型管理機を操作する受講生（中央）



キャベツを収穫する受講生